

学校教育目標	【学校教育目標】自由と規律			
	【重点目標】 ○自分から進んで学び、他者と話し合いながら考えを深め、夢を実現しようとする人をめざす ○自他を認め合い、心身ともに健康で、自分らしく行動する人をめざす ○地域・社会との関わりを大切に、世界や未来に目を向け、共生していく人をめざす			
学校概要	創立 48 周年	学校長 岩永 徹	副校長 堀 慶司	3 学期制 一般学級: 14 個別支援学級: 1
	児童生徒数: 517 人 主な関係校: 青葉台小学校、榎が丘小学校、鴨志田第一小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
	青葉台中学校 青葉台小学校 榎が丘小学校	○自分から進んで学び、他者と話し合いながら考えを深め、夢の実現を目指す子 ○自他を認め合い、心身ともに健康で、自分らしく行動する子 ○地域・社会との関わりを大切に、世界や未来に目を向け、共生していく子 ・合同授業研究会等を通じた授業改善、授業力の向上 ・合同研究会等を通じた児童生徒指導上の課題解決 ・行事等を通じた児童生徒の交流
<自分づくりに関する力>		
<言語能力>		

中期取組目標	<p>○「チーム青葉台中」として全職員で活力にあふれ、魅力があり、信頼される学校づくりを目指します。</p> <p>・教師の授業力向上と、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善を図り、個に応じた指導の充実と分かる授業の実践を目指します。</p> <p>・互いを認め合い、自己を大切に、自分の成長や課題解決に向けて主体的に行動できる生徒の育成を目指します。</p> <p>・「体力向上一校一実践」などによる体力向上の取組を進め、健康な体や運動に親しむ生徒の育成を目指します。</p> <p>・小中学校の連携、地域・保護者との連携を一層強め、地域・社会に貢献できる生徒の育成を目指します。</p> <p>・コミュニケーション能力の向上、アイデンティティの確立、多様な考え方や文化の理解などを図り、世界で活躍できる人材を育みます。</p>
--------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学習の基盤となる資質・能力を育成するために、引き続き校内授業研等を行い、生徒が主体的に学習に取り組む授業を目指す。②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践を通して、新教育課程の評価・改善に取り組む。
担当 学習指導部	
豊かな心	①引き続き全校道徳(スピーチ・作文・標語)や福祉体験に取り組むことで、人権に対する考えを深める。②道徳科を中心に、全教育活動を通して、生徒の発達段階に応じた課題を共有し、一人ひとりが安心して生活し、自己有用感をもてる環境を形成する。
担当 学習指導部 道徳・人権・福祉	
健やかな体	①基礎体力や運動技能の向上を目指し、引き続き「縄跳び運動」を毎時間の体育の授業で行い、体力の向上を図る。②保健指導や学校保健委員会等の活動を通して、「新しい生活様式」のもとでの健康の在り方について生徒自身に考えさせ、自らの心身の健康と安全に対する意識を一層高める。
担当 保健指導部・保健体育科	
主体的な取組	①校外学習、体育祭、文化発表会などの行事を通して、学級・学年あるいは学年を越えた生徒同士の関わりを大切に、主体的に取り組む力をつけていく。②教育活動全般にわたって、生徒と目標を共有しながら、形成的な評価を行うことで、何事にも主体的に取り組む力をつけていく。
担当 学習指導部・各行事等実行委員会	
特別支援教育	①特別支援教育委員会の定期的な開催、個別の支援計画の策定、見直しにより、支援が必要な生徒に対し、適切な具体策を検討していく。②特別支援に関する研修を行い、職員の児童生徒理解のスキルを一層高めしていく。③日本語指導が必要な生徒への支援の具体策を検討し一層の充実を図る。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携・学校運営協議会	①引き続き学校・家庭・地域連携事業などを通じて、地域との連携を積極的に図り、「社会に開かれた教育課程」を推進するとともに、生徒が地域の行事等に積極的に参加するよう働きかける。②地域学校協働本部の設置に向けての動きを進め、学校運営協議会との連携を図る。
担当 教務部・渉外部	
自分づくり教育(キャリア教育)	①生徒・保護者の進路に関わる質問や要望に対して、進路説明会を中心に、丁寧にサポートをしていく。②「自分づくりパスポート」を活用しながら、生徒一人ひとりが自身の特性に気づき、夢や希望をもって進路選択をしていく取組を実施する。
担当 学習指導部 特別活動	
いじめへの対応	①全職員で生徒の共通理解を図り、生徒の細かなサインを見逃さない体制をつくる。②「子ども会議」や「街と共に歩む地域作り座談会」、「委員会活動」の中で、家庭・地域との連携、意見交換を通して、「いじめ撲滅」への意志を生徒自らから発信する啓発活動や更なる生徒の自治力の向上を図る。
担当 いじめ防止対策委員会・生活指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①キャリア研修や各行事等で、ミドルリーダーの育成を図るとともに、経験の浅い教職員の学校運営に関する理解を計画的に進める。②危機管理やリスク管理、情報管理等の方針を徹底し、様々な場面を想定して研修する。③コロナ対応も含めた行事等の精選、ICT機器の積極的活用、部活動時間の徹底、職員室業務アシスタント等との役割分担などを通して、働き方改革を一層推進する。
担当 教務部・運営会議	